



小児虐待・ネグレクトについて

1. 子供を取り巻く環境の変化について

超少子社会となった今日、子ども虐待の増加・深刻化の傾向を見逃すことはできません。本来「群れ」の文化であった子育ては、核家族で育った親が、「個」で育児不安を抱えながら子育てをしなければならない時代になりました。さらに、大都市部では近隣の間人間関係が希薄になる中、地域で互いに子育ての手助けをすることが少なくなっています。子育ての理想目標と現実との格差によるストレスが、虐待への引き金となっていることもあります。虐待者自身が虐待を受けた経験のある場合や、配偶者による暴力が関連している場合もあり、また、10代の未熟な親、継父や継母という複雑な家族構成等々、虐待の背景にある状況を十分に把握した対応が必要となります。子どもの環境が複雑化し、子どもの養育は年々困難になってきているのが現状です。

日本小児歯科学会 HPより

2. 口の中には普段の生活が現れる

歯科医はお口の中を見るのは歯医者者の仕事ですが、歯医者者は口の中をみれば、ある程度の生活環境が理解できます。食生活は勿論、喫煙習慣や医療・健康に対する考え方、その延長上に患者様の様々な『生活』を見ることができます。そして、虐待もその1つです。歯科医師免許の国家試験問題において出題されています。

虐待やネグレクトの改善へむけて歯科医師ができることがあります。詳細は「小児歯科学会HP」を御覧ください。

3. ご相談ください

日本小児歯科学会はじめ、たくさんの団体が虐待について情報を発信しております。様々なことから気になる方がいらっしゃる場合には、ぜひご相談ください。当院では日本小児歯科学会のガイドラインに従い、適切に処理させていただきます。なお、守秘義務の徹底と案件の取り扱いについて最大の注意を払うことをお約束致します。

詳しくは当院へご相談ください



ふたぎ歯科医院

